千葉県介護福祉士会 会報 にじ 2020.12月16日号

改等況○状

の及調

び査

況



等 価 介 0 目調 護 を 查 行職的 う 員 Y 礎 処 Y 業出加介出○3 そ 客○30年○資 遇 算護 ŧ の統所 加施体 調 年 定内計がし を職状算設数査度月 を 查 46い63て取処 表93 て 「 員況の 対 調 時得 . 1 0 い得遇介第 い取処 取事 查 参 期 介 算 万 得遇 る 考 改護22 得 業 <u>%</u> ـ َـــ 護 0 報影 ت % 1 届 善職表 へ 改 3 調 平 和 加冒 届

第190回 社会保障審議会 令和2年10月30日より 令和2年度 介護従事者処遇状況等調査結果の 概要(案):厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/content/12300 000/000689937.pdf

第5年額員出介《 820215 護時介 し職給護 表円月 つ時 ののい給 員 従 7 増 状 て ・い処非事 非る遇常者 沉 を平常事改勤等 っ比成勤業善のの て較31の所加者 平 年者 算 いす 15 均 3 を職給 2 お 月のけ取種与 平 Y る得別額 令均介 0 和給護届 状

与職

7 2 ○ 介護職員の平均給与額の状況(月給・常勤の者、保有資格別)

<u>介護職員処遇改善加算 (I) ~ (V)</u>を取得 (届出) している事業所における<u>介護職員</u> (月給・常勤の者) の平均給与額について、保有資格別にみると、保有資格の有無にかかわ らず増となっている。

(統計表第99表)

1

4

	平均勤続年数	令和2年2月	平成31年2月	差 (令和2年-平成31年)
全 体	8.1年	315,850円	300,120円	15,730円
保有資格あり	8.2年	318,150円	302,480円	15,670円
介護福祉士	8.9年	329,250円	313,590円	15,660円
実務者研修	6.7年	303,230円	288,890円	14,340円
介護職員初任者研修	7.3年	301,210円	285,800円	15,410円
保有資格なし	5.5年	275,920円	264,800円	11,120円

注1)「実務者研修」とは、実務者研修、介護職員基礎研修及びヘルパー1級をいう。 注2)「介護職員初任報研修」とは、介護職員初任者研修及びヘルパー2級をいう。 注2)「介護職員不由と今和2年月末日と七に在第日につる各の平均6年発比社就している。 注4) 平均終与額は、基本総「月額」+手当十一時金 (10~3月支給金額の1/6) 注5) 平均終与額は、基本総「日額、井手当十一時金 (10~3月支給金額の1/6) 注5) 平均終与額は「日本港を把除去しましている。 注6) 動統年数は令和2年2月までに動続した年数であり、同一法人の経営する施設・事業所における動続年数は連算して計上している。

2 与 護 < 介 況 C 2 年額職届護 員出職 2 月 0 15 円月 ののい月 L 特常 て、 給 7 増状 勤 況 い定 平常 0 なを る処 事遇者 っ比成勤 て較31の業改 年者 す 所 に加種 る 2 お算別 0 月 額 平 Y 1+ を 0 均 る取 1 令 状 和給介得

Ш 給与等の引き上げ以外の処遇改善状況について

○ 給与等の引き上げ以外の処遇改善状況

給与等の引き上げ以外の処遇改善状況をみると 資質の向上では、<u>「介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修等の</u>受講支援」の実施率が

労働環境・処遇の改善では、「ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善」や「健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、職員休憩室・分煙スペース等の整備」の実施率が高くなっている。

資質の向上	実施	未実施
働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する 実務者研修等の受講支援	82.0%	15.9%
研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との 連動	56.4%	40.3%
小規模事業者の共同による採用・人事ローテー ション・研修のための制度構築	22.9%	72.5%
その他	実施	未実施
介護サービス情報公表制度の活用による 経営・人材育成理念の見える化	66.5%	30.2%
中途採用者に特化した人事制度の確立 (勤務シフトの配慮等)	54.7%	41.7%
障害を有する者でも働きやすい職場環境構築や 勤務シフト配慮	46.2%	50.0%
地域の児童や住民との交流による地域包括ケアの 一員としてのモチベーション向上	55.9%	40.5%
非正規職員から正規職員への転換	83.1%	14.5%
職員の増員による業務負担の軽減	69.3%	27.6%

(統計表第	統計表第76表)	
労働環境・処遇の改善	実施	未実施	
新人介護職員の早期離職防止のためのエルダー・ メンター(新人指導担当者)制度導入	45.5%	50.8%	
雇用管理改善のための管理者の労働・安全衛生法 規、休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用 管理改善対策の充実	55.9%	40.7%	
ICT活用による業務省力化	33.6%	62.9%	
介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介 護ロボットやリフト等の介護機器等導入	28.5%	68.2%	
子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度 等の充実、事業所内保育施設の整備	54.8%	42.1%	
ミーティング等による職場内コミュニケーションの 円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた 勤務環境やケア内容の改善	87.0%	10.7%	
事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による 責任の所在の明確化	84.2%	12.9%	
健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、 職員休憩室・分煙スペース等の整備	86.2%	11.5%	
	_	24	

8

計施事 C なの得○ 改業 し介の っ受 を 資 善 所 て 講 目質 状のい職 活 7 員状 内用環い支指の況給 る 等 境 る援す向 を与事等 施の 者 大育 上 2 等業特 率引 るの所 のに で 施育処 定 き 引と 設児遇 実対は Z 処 特上 き取遇 す なの休の 定げ 上得改 整業改 率る 処以 げし 備 制善 の実介 遇外 度で 差務護 以て加 改の 外い算 な等は が者福 善 処 ど 0 のなを 大研祉 加遇 修士 処い取 へ 充 # 算改 遇事得 統実実 等取

況

1

をオー クラ千葉ホテルで行いました。

トピックス

11月11日 は 介護の日

一人ひとりの 生活きる を取り戻す 『介護の日』 ⊕和2年11/15 🗉 会場/オークラ千葉ホテル 参加費/無料 定員/80名(【お申し込み方法 裏面の申込書にご記入のうえ、下記事務局 FAXにてお申し込みください。 申込締切 令和2年11月5日(木)

- 般社団法人 千葉県介護福祉士会 事務局 FAX 043-248-145

月 日 13 日

い全

· ます。 を も 11 で年

<

た11

のは

ベ介

が日

行

護

0

イ

月 さ 11 ん 日

発 葉ブ 相護 口談福 委員士 ツ 会会

千

日 人材確け 記 保催 対

演 00 わと れし 会長 八須 祐一郎



IA数フ 界の高e 注 目 こされ \ 携 な をに福成 出仕わた モ お祉24 演 やの L 未「 7 n f _ 流 N か Y G平儀H 成 ∫ Kたた 5 映受 е 0 3 1 画賞 響域n b 年なプ

どロな

を あ テ 分加お マに講 とり 生 相 (活)

いき

進祉

躍業力のca



か イる「も医う必たて世まうそデた地の療関要 。し界で め域がや係と までの 氏時れのア をに共垣福性す自うの私ま深よ 強教必生根祉だる立ほ介たし え要社を てな会越 要社を、け方支どな会越地でと援、 そ 加のた。 興い、のえ域な介」 イあ業加く藤 た発実て、だ想現 とく護のンっ務藤の氏 そ、をあパたが氏参の ての しいノペ たネ にだきました な感ま転を当方齢供方トのにお者演 し換具のの者すやがよ狭話に会たな現意人やる 、あうくは集は ど化味生子側介りにされ、 のさでそ供と護ましじなれい アせのの、いをしじなれい が、 ま感さこてと しじなれいて ぜ

也卜葉会力 さで県〜 きネ を優護須を創ル パ秀福祐テ l) デ ネ賞祉一| - 大を士郎マ 和 ラ 受会会にの 受会長、目ッ に賞主長 迎さ催と千指シ えれの令葉す ま介和県介ン し護元介護で いたコ年護る し土テに祉の。 た直ス千士魅生





啓 委員長 相 談 委員

英 清

機活域」た指堅福八 会躍にの。す職祉須 おあ参介員士会 きいり加護るて方者に とと長 て方者にいいは まか を のつう う を介見皆い立立管 たイ護つさて場場理 のメ福めま意かか者 メール 直に見ら、らら、立 ジ士しも交 でが 「換そ松場 好しや祉まのは介

のて地士し目中護



千葉県介護福祉士会主催 令和2年度第1回

北総ブロック・青年部運営委員会 合同研修会

ターミナルケアの



地域包括ケアシステムが推進されている作今 において、住み慣れた場所で最期を迎えることは ごく自然なことになりつつあります。その中で、 ターミナルケアに関わる介護職員の資質がより 一層求められるようになっています。その反面、 人の死に向き合う専門職としての自覚や知識、 技術について理解する場が実践以外では少なく、 その精神的ストレスから介護を離れてしまう職員 も少なくない状況です。利用者の「その人らしく 生ききる」を支えるために、ターミナルケアについ て実践的理解を深め、一人ひとりの最終ステージ に向き合うことのできる介護職員が増えることを ねらいとし、本研修会を企画します。なお、今回は 新型コロナウィルス感染症対策として、リモートで の研修会とします。

介護人材確保定着推進事業(申請中)

佐々木 炎氏

ホッとスペース中原 代表 牧師 / 介護福祉士 / 主任介護支援専門員

色い

[ささき ほのお] 1965年静岡県生まれ。青春時代は不良少年として過ごした。聖練学業福祉医療 ヘルパー学園平・聖契神学校平、日本社会事業学校専修科平後。特別養護老人ホーム観賞、プライ

ペート介護に携わった後、1998年「ホッとスペース中間」を創業し代表。 現在、主任介護支援専門員やサービス管理責任者として迅場に携わりながら、上智大学: が終いません。 対策方面的、東北大学大学完文学研究本実践示象で実習講師、東京基督教大学開訴、表示理工務 原福社専門学校講師等を務める。社会福祉法人慶開会、教ノ原やはばと学議理事。全国社会福祉 佐護会「月間かれあいウア」編集委員、介護福祉士会「郷定介護福祉士」「ファーストステップ研修」 「認知症ケア」の講師を務める。各地で「看取の介護(ターミナルケア)」「認知症ケア」「人物の尊厳 と白立」等の講演をする。著書に「落書さの教科書」「どん底から見える希望の光」(キリスト新聞社) 「人は命だけでは生きられない」(いのちのことば社)など、幅広く活躍されている。

試有ナ



部 千 運 葉 県 営 介 委 護 員 材 確 的 保 同 対 策 研 事

業

ろのそけそ

青 北

年総

口 2

ッ

和

10

月

25

日

日

修評い

修

北総ブロック・ 青年部運営 委員会



き

者

か

b

0

点 生

を

踏

ま

Ž

講 招

実の

佐

Q

炎 と

講 ス

師

15 た

お

福ル

演

習

を 践

行

て

11 た視先

き

ま

ブ

7

で

施

L

師

で 護

あ

る

ッ

ス

福

祉

士

主

任

介

護

支

援

門

員











実利に学と 感 用は フ で P 者 生 ま 自 L 1) 身 るた テ ゃ 7 味 ま やた 0 重 家役 族割 が最

ŧ

n

2 ŧ た ル Z な ケ とに 職 P ま に種 7 で t L Ζ い職 l) 0 て場 4 0 m ŧ 考環 え境見の を 活 の交 方 用 今 豊 方換 Q 回富 Q ŧ 15 た はなと 活 ŧ 新情 A 発協 オ ンた報 化力

う 重 過 る びが て \mathcal{O} 方 今会 で る昨 人の 思 な 生 た 要 職 Y 受 佐年 出 回で な 来 Y 色 8 す 業 生の す 講 々 度 1) る思 マ に 活研 で 者 木よ か ょ あ 寄 人は Z はあ場 修 か先り つ う 7 V) 生 へ 面 ら生北 つ た を な ŧ 添 そ 7 て の総 あ 関 リ研 がい知の るの 関 Ġ わい る 方 Z 方 利わ 7 修口 l) なま そ の話 に用 福 工 会 関あ後方が あ 0 と現 ż と者 は 祉 ス ま がら t 方 か在れっ が 1 わ 士 3 て かに b を ま がは ŧ と実 必 そ 要 つ「始知 後必死 7 逝 L だ た自ま るた Y 員 0 < を 要 ŧ 1) だ 研好

ŧ う な

2階 雅志 田村 1階 **罗神山田第三班1**版

研自に 少 「な祉期もコ 7 修 身 な 死 っ士の 制口 7 がに 0 限ナ と 関 利 自れ 1) き 加問 て A る わ用れに 1) ま う L 自 良 1) 者 う か 3 非 は に状 7 す っナ 15 と況 日 常 感 0 3 たル ょ っの ľ l) 中 0 ケ 15 7 だ P 対 ま 重 家 と がろ を L す 要 私 が 多 う終 7 な た A 0 か Ż \mathcal{O} L ŧ ち 面 0 る経かの 介 ミ会 とた験 ナ け L Y 護 な

の私びは

頂支な分「際あの知参の視が を 症考 ŧ 行設 がわに イ 認 ∨ 7 は で 感じ 夕認症 たこと L すること て れら ビ知の ま しの とがあっ まし 周 ユ 症 当 用 体時 す ŧ V) た。 る 0 や験 あ以の 人今R を 0 環 画 当 る 前研ワ回認 で 受境が 意 は な 方 V) ど者の だ味 を . ح たら ょ っは ŧ Rで コ体 明されけられたら ても 共体に験 は中口験 知見心ナ会 ۲, 体者 症なに禍 好かる 1) 験の の体い研と

北総ブロック



令和2年 知症 日 体験

材 保対策事業

体験場修い開

ます ア知し い頂てし す備策 るこ い頂たコ 7 たいシロ R \vee 頂 \Box 会たルナ 興体Rけと 体たが講 0 3 1 0 ウ ツ スド研 せいた 距考 タの修 ようと ま ッ黒を , 。 安 フ田行協様っ A 考えて 来心〈 1 いの が、受講して頂きま とうござ ミ年 7 ち ナ度 加おル 参実 を症 下りケ認加施準対



た研め講才こ修て義ン 「は様まのいナ ・ンライ 学増化すび加し。 集 7 実 ŧ 合は ま を止 質 し研 らは 並 す ンを 様か修 方 7 7 Q の こ て 実 ます はの な 內容 使 参 不 力 図 利加安用のを 状施 の用の 工 つ Z 当 を逆 7 研 者 研 う と修 コ修 ョ手 L 会 け集 口 合しし る ż 0 ようがた、 ライ がと 必ズが こで 世多り部 で り部おン 進面



ク 長 加 前

ナ 1 ル 今

何頂行面事い っ会業 き 7 てに所い型 コロロ ま L いっに いよっ。 る 方 7 っ て未ウ た 法 を 数対体 可 予 名応験 7 防能のに な な会違出の 策 を か自取囲のが事威 りで方あだは、な回にりか、 が職 りそうないからこそ、 で場 実際う でが答 よのらし際う。参





対化けし子話漏

応なたた

き話い会ご るでうの入

だ報職な所

け告員い者通

識看

た宝はれこれ、いに強るご間動

け希

とし

てご

る

ま写は室

りホ③応面体日14②①例し個看①例寄いの家③

「住い ①宅た 面型だ 中域ル場に直す用会有い止のや所よ前。者手料た るの回や段老 毒体のの体ム別 以限等な会ス認事や法院者 下をにど後ク」項私やで

(奇直3に室取窓2り 10にり越 分移期 L 程動ので ご外 度し て利に 0 面ク用い リ者る 会 を実パ アは 一面族 施 テ会 Z 日面 シ を会 ョ決 ンめ 越

てを確回17数接 にい実認面時日面 おる施後会でと会 見。。、者15偶。 看面は分数

はけわ消触用「しち夫質特

ル

テ「コ「い③

毒れ

テ

ま共の地ブ会ル会で

P

で設合のの着

い時口子換手検答ごま聞ナ、気指温の家

のの状ノ」と調共反的

で制況ブ面マ確通応方病

取会2以日

り許名内で

外おでにに

的部検つ対

フ

者 P

1

名 Y

き応

期可ま

は得受

例て付

に屋温

対でと

の証 で 患 口

方を

てやコ椅の

ナ

な

7

て、

利

とたエす

ジ見 か舞 らい メカ ツ] セ F, を ジ 置 をい 受た 1) 付 け

た

面 Ε を た

し会前こ分にういル出間の者②ン①**例** ビ話にと間最 ° °板 ° 場一平面直 1 り。だ族最ビ話にと間 添体けに近デで施が) も看職を入当合名日会接 0 は郵の才情設重 近取員使所日 1= 14 た変避送様通報の要※いりは用フに面月時 こ個期立し \Box を洩ブオの室の会 ア週 者 開のレン面で方い飲で間はの 始なッラ会対の、食な前 すいトイ状応場会やいの よにン況 (合話触 フ体ま うし面を時に のれ口 P |会説時工仲る まの話個Nの明はレ介 E場の希べ な 真10に登合で望しどはア書は接ごを分移録、きでタをしクの10面利ご間動。事る10~行なり提分会用 た望は取を分移録

P

らか症慣れご15③午②①例ご急先ざ用③し様話職べ時②①例 えけがれた利週~8前1L5利遽日る者「な子な員」間月直4 7 進 7 時用間 6 中週 ŧ 者 で件 4 間 N 行 喜戸は4のか件にん惑、1面ら。1 Ε 惑 (面ら。 6 1 を て っ初5会開午 回使 が家いため件が始後の ま様 て程有 な族 し6予た (が名し、) は度りまして、 最付い と、最初に でしたでしる。 `件約才 ラ L たイ少たのて時イ ŧ を しが頃い間ン 合呼かが `` 面て は るは面 す会 い現 10 話認に をさ 7 る 在 -1 分 は日 間

才

ラ

を どに タは 見仲連 面 15 に介絡を分金 行がし降間曜 l) 必 た 要 おな利所家14 互場 用で い合者 待 には を 2 14 立 誘 触 名時 れ合導事 ま半、 う す うる。 室 か と 適 か工時 は宜会ら

用 7 Ρ をは家い OC得多族 者 日 R ないに の検いが会 面 查 , 1, 会を利コた もは受用口い 残中け 者ナ 止た 禍と こそう ごだ希 員家か望 絡が族らさ を いもとれ L たい納る た。 L た のる。 得ご

で、 せ利

でや きし同だのウ で様けも す心る にでのル ○ を会 軽 と気たなでスを持くくはを できるは、、ご利いたが前にありました。 減 て 、きる 範向我用せ ま き慢者 ょ 进 な からなさ も、そ う 努 努 実れれそれ力 るてのはは ようま ま家私並 す族た大

い安で少もち抵

案内

第 33 直前模擬試験実施 回 介護福祉士 国家試験

日時:令和3年1月9日出 9:50~15:45 45 45

会場:千葉県社会福祉センター 模擬試験およびミニ講座

4 階 第1会議室

受験料:3, (自宅受験の場合は 000円

申込方法:期限日までに申込書を申込期限:令和2年12月25日俭 郵送料込3,400円

受験票:当日受付でお渡しいたし 座へお振込みください。 記入し千葉県介護福祉士会 ヘFAXと受験料を指定口

直接会場にお越しください。 お断りの連絡がいかない限り、 ます。

青年部運営委員会

第3回オンライン研修会 介護職マネジメント研修 〜働きがいのある職場づくり〜

講師∶アイ・ウィッシュ株式会社

日時:令和3年2月20日出 代表取締役 18 小池 00 ~ 21 昭雅 00 (受付17:30~) 氏

参加費:無料(千葉県介護人材確保対策事業申請中) 申込期限:令和3年2月6日出

申込方法:当会Eメールへ、 定員:50名 (会員の方)、郵便番号、住所、 送信してください。受講の可否及び受講手続き の内容についてメー アドレス、 、ださい。受講の可らんでない、携帯電話番号、法人名を入力の上、人別・日名・メール ルにてお知らせします。 会員番



第3回 "千葉県介護コンテスト 令和2年度

主催:令和2年度 〔千葉県介護人材確保対策事業〕

会場:TKPガーデンシティ千葉 日時:令和3年3月7日田 後援:千葉県 「千葉県介護コンテスト」実行委員会 千葉市 千葉県社会福祉協議会 13 00 5 16 50

参観定員:80名(事前申し込みが必要です。 出場定員:20名(募集対象や応募資格などがありま 参加費:無料 す。 チラシをご確認ください。 詳細は千葉県介護福祉士会ホームページや

申込期限: コンテスト出場を希望する方 参観を希望する方 令和3年2月20日出 令和3年2月10日水

令和2年度 第3回オンライン研修会 北総ブロック

VR高齢者住まい 有取り研修会』

申込期限:令和3年3月5日逾 ※操作に慣れていない方 (受付12:30~) 早めに入室ください は

日時:令和3年3月14

日 (日)

講師∶株式会社シルバーウッド

千葉県介護人材確保

参加費:無料

定員:50名 対策事業申請中

申込方法:別紙申込書により FAX・郵送等で事務局 ※定員になり次第、 し込み下さい。 ä 切ら 申

せて頂きます。

その他:ネット環境が必要となり します。 を事務局より郵送にてお送り 修資料及びミー のダウンロードをお願いいた ます。事前に200Mアプリ 参加者には事前 ティングー D 研



一般社団法人 千葉県介護福祉士会

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県社会福祉センター3階

TEL: 043-248-1451

FAX: 043-248-1515

E-MAIL:kai5niji@poem.ocn.ne.jp



ホームページ:

http://care-net.biz/12/kai5chiba/



こちらから研修時の感染予防対策や 健康チェックシートを印刷できます。

編集:広報委員会·広報委員長 知りたい情報等がありましたら 上記メールアドレスにお知らせ



/千葉県介護福祉士会-1866986893408630/



賛 南東君北千 部部津総葉 助 团 体 口

ツ ククブクク 口

ツ

九

团

体

テ皆

四八六七四八

三五九五九一 名名名名名名

いすのし今入いチ

なり

加対

に思てき

参いいま

加まきせ

ての研

きと会い

o い 催 が ま 謝 費

ですい 。た

て口定だの皆

でた年金ま葉

コま

十二月 (七〇)

現

在

だより

がはがす県 務 様今口だ今護 ンの後ナの年福 長 体も禍方度祉 員調万にはは士 ょ を全よで年会

どつ祝な事口おて うい日っ務座願い てにて所登いま よは開おの録いす介 催り 電のた さま話用し 守れす受紙ま お電るの付はす 振 士 に研では 月事 て修 がは い対会受 主 た応等付金局 だ年 しの時へ てお間九で お問外時 りい及 ま合び一求 すわ土六 座 振 せ・ に日

ください!

https://www.facebook.com



編集後記:

新型コロナウィルス感染拡大防止にご尽力されている皆さまに、元気に、前向きに、役立 つような情報の共有と会活動を活発化するための会員数が増加するような広報活動も目指 したいです。ぜひ良いアイデアやご意見を頂き、皆さんと一丸となって、介護を盛り上げ られるよう、ご協力お願いいたします。

成

b

ま立

介護には、オンラインは無縁だと思っていましたが、なんだかんだ会議や研修で便利なこ とも体験的にわかり、ヘッドセットやライト、部屋の模様替えなど楽しめるようなアイテ ムも少しづつ増えてきました。(鈴)